

公表：令和 7 年 3 月 31日

事業所名 ショートステイいころ

	チェック項目	はい	不十分	いいえ	工夫している点はいの場合、具体的実施内容 。 不十分、いいえの場合、今後の取組内容・実
①	利用者や家族に重要事項の説明を行う際は、パンフレットや料金表などの資料を用意するなどして、わかりやすい説明ができるよう工夫しているかどうか	100%			
②	利用者がいつでも契約を解除できることを説明していますか	100%			
③	短期入所生活介護として提供することができるサービス内容について、具体的に説明していますか。	100%			
④	自らの事業所のサービス利用では十分に対応できない場合などには、居宅介護支援事業者と連携し、他の短期入所生活介護事業所の紹介を受けて、利用者の口	100%			
⑤	日々の介護状況や他のサービスの利用状況についても十分に把握し、適切に記録していますか	100%			
⑥	短期入所生活介護計画は、利用者の在宅での日課や生活スタイルを踏まえて、個別具体的に作成していますか。	100%			
⑦	短期入所生活介護計画の目標や内容、利用期間内の行事などについて、利用者や家族に理解しやすく説明していますか。	100%			
⑧	サービスの実施状況を定期的に計画し、利用者の身体状況の変化などに応じて、短期入所生活	100%			
⑨	介護職員は、サービスを行う前に、利用者の直近の様子やサービス提供の内容に関する留意点を確認するなど、必要な準備を行うサービスの提供の記録には、提供したサービス内容だけでなく、利用者の心身の状況についても具体的に記録していますか。	100%			
⑩	ケアプランが交付される度に、短期入所生活介護で提供すべきサービス内容に変更がないかどうか確認していますか	100%			
⑪	ケアプランの短期目標の期間を確認していますか。	100%			
⑫	利用者が快適に生活できるよう、温度や照明、雰囲気などの環境を整えていますか。	100%			

⑭	接遇マニュアルを作成し、接遇に関する研修を定期的に行うなど、利用者や家族への言葉づかいに配慮していますか。	100%			
⑮	利用者の身体状況に合わせた入浴や清拭を行い、清潔の保持に努めていますか。	100%			
⑯	起床、就寝、食事後などに、定期的に口腔ケアを行っていますか。	100%			
⑰	排せつ記録表を活用してトイレ誘導や声掛けを行うなど、排せつの自立のために工夫していますか。	100%			
⑱	利用者に適したおむつを提供し、排せつ状況を踏まえて適切に取り換えていますか。	100%			
⑲	利用者の1日の生活の流れに沿って、離床、着替え、整容などを行っていますか。	100%			
⑳	食事をおいしく食べられる雰囲気づくりを行っていますか。	100%			
㉑	利用者の嚥下や咀嚼状況などの情報を、介護職員が栄養士に伝えて、利用者の食事に的確に反映させていますか。	100%			
㉒	看護職員と協力しながら、薬の飲み忘れがないよう工夫していますか。	100%			
㉓	レクリエーションは、利用者の能力や嗜好などを考慮したプログラムを用意し、利用者が自由に選択できるようにしていますか。	100%			
㉔	自発的な会話が少ない利用者には、介護職員から言葉を掛けて、利用者の話に耳を傾けるよう配慮していますか。	100%			
㉕	認知症高齢者が安心して生活できるよう、必要な見守りや居室環境の整備を行っていますか。	100%			
㉖	抑制や拘束など利用者の行動を制限する行為は行わないようにしていますか。	100%			
㉗	高齢者虐待に関する研修などを通じて、職員の理解を深めていますか。	100%			
㉘	利用者の生活の様子や変化について、家族に分かりやすいように伝えていきますか。	100%			

29	ボランティア団体と協力してイベントを開催したり、学生の職場体験を受け入れたりするな	100%			
30	利用者の病状の急変に備えて、主治医や家族の連絡先を把握しておくとともに、緊急時の対応 マニュアルを作成するなど対処方法を定め	100%			
31	研修に欠席した短期入所生活介護員に対して伝達講習を行うなど、すべての職員に研修の機会 を確保できる体制を整えていますか。	100%			
32	介護職員について、専門資格の取得を積極的に進めていますか。	100%			
33	非常災害時における職員の役割を明確に決めて、定期的に防災マニュアルや消防計画などを確認するなどして、利用者の円滑かつ迅速な避難確保に努めていますか。	100%			
34	感染症予防のために必要な対策を講じていますか。	100%			
35	苦情を受け付けた場合は、その内容を記録するだけでなく、会議で職員に周知したり必要な研修を実施したりするなど、サービスの質の	100%			
36	事故には至らなかった事例でも、ヒヤリとしたりハットした事例についても記録し、会議で周知するなどして、その後の事故を未然に防ぐ取り組みに活かしていますか。	100%			ヒヤリハット事例が起こっていないため、取り組みや記録は現時点で行っていない。
37	利用者に関する記録について、綴る順番や管理方法を定めて適切に整備した上で、保管していますか。	100%			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。